ステップ・アップの“夏”

７月２８日（金）から二泊三日で「チャレンジキャンプ in ほろわ」を実施しました。小４から中２までの１１名の参加者は、テント設営・火起こし体験・ハンモック・野外炊飯・ナイトハイク・登山・キャンプファイヤー・自然素材工作など、多くのことにチャレンジしてくれました。特に、照りつける太陽の下で挑んだ八塩山登山（鳥居ノ沢登山口より）は、急な登りが続く過酷なもので、くじけそうになる心と、どんどん重くなる身体の状態を見ながらのチャレンジとなりました。しかし、登頂を成し遂げた全員の表情にはたくましさが見られ、山頂での手作り昼食はどんなにおいしかったことでしょう。全員の頑張りに心から拍手です。

想い”のこもった“お手紙”に…「今日も頑張るぞ！」

体験活動後の“想い”を綴った感想やお礼状等が所にたくさん届いています。スタッフ全員が全てに目を通しておりますが、「保呂羽のことは絶対に忘れません」「本当に楽しかった。自信がもてました」等の言葉に「これからも頑張っていくぞ！」と、スタッフのやる気スイッチも、どんどん上がっています。　応援、ありがとうございます！。

【他にもこんな声が届いています】

◇「私が大切だと気がついたことは、人間は一人だとできることもあればできないこともある。それを他の人が助けるからこそ、何でもできるということです。このことに保呂羽山に来たから気づけたので、保呂羽山の皆さん、本当にありがとうございました。これからの５年生たちにもよろしくお願いします。」

◇「…これからもどうぞお体に気をつけていろいろな行事に来た人たちを笑顔にしてください。機会があれば、僕も行事に参加したいです。」

◇「ご飯を作る時、すごく大変でした。当たり前のことを当たり前と思わないということを学べました。」

この夏…保育園児から高校生まで！

夏休みを迎え、ほろわんぱーくにはいろいろな年代の声が響くようになりました。保育園や地域の学童保育、子ども教室、親子会等、幅広い年齢の方々で賑わっています。ハイキングや自然散策、自然素材工作での保育園児のキラキラした目と、秋田県学校農業クラブ連盟（全県各地から農業学科の生徒さん方が来所）の夏期研修会における熱いまなざしは、「生涯学習施設としての多様な学習機会の提供の場」ということを、今一度、スタッフ一同が確認する場となりました。「体験活動は人づくり」という意識を大切にした指導の充実を、これからも忘れず頑張っていきたいと思います。

秋田県立保呂羽山少年自然の家（愛称：ほろわんぱーく）
〒013-0661　秋田県横手市大森町八沢木字大木屋73　TEL 0182-26-6011　FAX 0182-26-6012
<ホームページアドレス> http://www.pref.akita.lg.jp/horowa-sizen/
【ホームページ】　【フェイスブック】